

2011年7月20日

**パソナグループ 2011年5月期 決算概要**

- インソーシング（委託・請負）は官公庁・地方自治体等の受注が増加し、大きく成長
- グローバルソーシング（海外人材サービス）は企業の海外シフトが加速して拡大、プレース&サーチ（人材紹介）も即戦力を中心に求人が増加し、国内外ともに人材需要が高まる
- エキスパートサービス（人材派遣）は新規受注が増加するも、厚生労働省の派遣職種の適正化推進ならびに震災影響により派遣需要が抑制
- 2012年5月期は引き続きインソーシングの伸長と下期に向けて利益面の回復を見込み、増収増益を予想
- 2011年5月期配当は1株当たり1,000円、2012年5月期は1株当たり1,200円を予定

**1. 通期連結業績**（2010年6月1日～2011年5月31日）

（百万円）

	2010年5月期	2011年5月期	増減	前期比
<b>売上高</b>	183,515	178,806	△4,709	△2.6%
売上総利益 (売上比)	36,731 20.0%	33,558 18.8%	△3,172 △1.2pt	△8.6%
販売費及び一般管理費 (売上比)	33,070 18.0%	31,125 17.4%	△1,945 △0.6pt	△5.9%
<b>営業利益</b> (売上比)	3,660 2.0%	2,432 1.4%	△1,227 △0.6pt	△33.5%
<b>経常利益</b> (売上比)	4,044 2.2%	2,571 1.4%	△1,472 △0.8pt	△36.4%
税金等調整前当期純利益 (売上比)	3,833 2.1%	2,496 1.4%	△1,336 △0.7pt	△34.9%
<b>当期純利益</b> (売上比)	204 0.1%	412 0.2%	207 0.1pt	101.4%
1株当たり当期純利益	564円99銭	1,101円88銭	536円89銭	95.0%

**2. セグメント別業績**（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	営業利益
HRソリューション	177,604	5,218
エキスパートサービス(人材派遣)、 インソーシング(委託・請負)他	153,106	1,980
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負) HRコンサルティング	149,240	1,980
プレース&サーチ(人材紹介)	1,833	
グローバルソーシング(海外人材サービス)	2,031	
アウトプレースメント(再就職支援)	9,807	1,011
アウトソーシング	14,690	2,227
ライフソリューション パブリックソリューション シェアード	3,564	134
消去又は全社	△2,362	△2,920
<b>合計</b>	178,806	2,432

※当期からセグメント区分を変更したため、前期比は記載していません

## ●業績概況

- 売上高は前期比△2.6%の178,806百万円
- 売上総利益は、アウトプレースメントの減収と売上総利益率の低下影響をグローバルソーシングの拡大で一部吸収したものの、前期比△8.6%の33,558百万円
- 販管費は、業務効率化に加えて、グループ会社の再編やオフィス統合などでコストを削減し前期比△1,945百万円(同△5.9%)の31,125百万円に抑制
- 営業利益は2,432百万円(前期比△33.5%)、経常利益は2,571百万円(同△36.4%)
- 特別利益として投資有価証券売却益463百万円を計上したが、会計基準の変更に伴う資産除去債務影響額480百万円と東日本大震災による派遣スタッフの休業補償費用等63百万円を特別損失として計上したため、税金等調整前当期純利益は2,496百万円(前期比△34.9%)
- 税効果会計の影響が前期より少なかったこともあり、当期純利益は412百万円(前期比+101.4%)と増益

## ●セグメント別業績 ※当期からマネジメント・アプローチに基づいてセグメント区分を変更したため前期比は記載していません

### HRソリューション

#### エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)他

売上高 153,106 百万円、営業利益 1,980 百万円

#### [エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)、HRコンサルティング]

売上高 149,240 百万円

#### エキスパートサービス(人材派遣) ※月平均長期稼働者数、派遣職種別売上高… p.5

- サービス業やメーカーをはじめ多くの業界で新規受注が増加したものの、厚生労働省による派遣職種の適正化推進が直接雇用につながったほか、震災後、企業の先行き不透明感が高まり派遣需要が抑制された結果、長期稼働者数は横ばいで推移
- メディカル分野の育成型派遣の推進や、M&Aによる保険・金融分野の強化が奏功してテクニカル分野が伸長したほか、営業・販売職でもエコポイントの影響による家電量販店での需要が増加し、売上高は 130,735 百万円

#### インソーシング(委託・請負)

- 受付、事務センターやコールセンターなどの受託が増加したほか、官公庁・地方自治体等の案件も順調に推移し、売上高は 16,365 百万円に拡大

#### [プレース&サーチ(人材紹介)]

売上高 1,833 百万円

- 国内人材紹介マーケットは技術職や営業職の即戦力となる人材を中心に求人増加の動きが見られ、売上高は回復基調。マネジメントレベルの人材紹介も堅調に推移  
※海外の人材紹介は当期から「グローバルソーシング」に含む

#### [グローバルソーシング(海外人材サービス)]

売上高 2,031 百万円

- 中国、台湾、インドなどアジアでは、日本企業の海外シフトにより現地社員の需要が活発化し、人材紹介が好調に推移。北米における人材紹介も堅調に推移
- 2010年12月にパソナグローバルをパソナに統合し、全国レベルで国内での営業を強化したことにより、人材派遣や給与計算等の業務や海外人事における周辺分野の委託業務も増加

当セグメントの営業利益は、インソーシングとグローバルソーシングの拡大により 1,980 百万円

#### アウトプレースメント(再就職支援)

売上高 9,807 百万円、営業利益 1,011 百万円

- 企業の海外移転に伴う再就職支援の需要等、着実に受注を獲得しシェアを拡大したものの、需要が大幅に拡大した前期と比較すると受注が減少し減収
- 前期に受け入れたサービス利用者の早期再就職決定を最優先した結果、原価が膨らむ

#### アウトソーシング

売上高 14,690 百万円、営業利益 2,227 百万円

- 大企業・官公庁等の法人会員に対して提案営業を推進し、ワークライフ・バランスを実現する福利厚生サービスの拡販を進めたほか、報奨金などをポイント化して管理・運営するインセンティブ事業にも注力

#### ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアード

売上高 3,564 百万円、営業利益 134 百万円

- 保育関連事業では、保育士の派遣や学童保育事業、臨時託児施設などの受託が増加し、堅調に推移

### 3. 財政・投資の状況

#### ●財政の状況

(百万円)

	2010年5月期 期末	2011年5月期 期末	前期末比		増減要因
			増減	増減率	
流動資産	34,986	44,368	9,381	26.8%	現金及び預金の増加 9,998 百万円、有形固定資産の減少 337 百万円、無形固定資産の減少 530 百万円等
固定資産	17,282	16,195	△1,086	△6.3%	
資産合計	52,269	60,564	8,294	15.9%	
流動負債	21,426	25,329	3,903	18.2%	長期借入金の増加 3,119 百万円、派遣スタッフの給与支払を月2回から月1回に変更したことによる未払費用の増加 2,824 百万円、短期借入金の増加 1,418 百万円等
固定負債	5,863	9,592	3,728	63.6%	
負債合計	27,289	34,922	7,632	28.0%	当期純利益 412 百万円等
純資産合計	24,979	25,642	662	2.7%	
自己資本比率	39.6%	34.7%	△4.9pt		

#### ●キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の期末残高22,563百万円(前期末比10,239百万円増)

(百万円)

	2010年5月期	2011年5月期	増減	資金増減の主な内訳
投資活動によるCF	△387	166	553	投資有価証券の売却 1,395 百万円、敷金保証金の回収 349 百万円、投資有価証券の取得 779 百万円、無形固定資産の取得 612 百万円等
財務活動によるCF	△4,275	3,695	7,971	長期借入による収入 5,958 百万円、長期借入金の返済 1,374 百万円、配当金の支払 464 百万円、ファイナンス・リース債務の返済 348 百万円等
フリーCF	2,488	6,586	4,097	

### 4. 2012年5月期(2011年6月1日～2012年5月31日)連結業績予想

東日本大震災により当面は景気の下振れ圧力がかかる状況が続くと予想されます。また、電力不足という課題を受けて企業は、更に海外シフトを加速し、災害や電力不足に備えて補完体制を強化するため、データ等のバックアップ(二重化)を含めた拠点の分散を強めていくと予想されます。こうしたニーズに対応し、海外におけるサポートサービスを行うグローバルソーシングや、経営効率化に加えリスク分散という観点からインソーシングや BPO などの事業を強化し拡大を図ります。販管費は引き続き効率化を図り、コストを削減しつつ戦略的投資も行うことから、やや増加する見込みです。また、アウトソーシングの季節影響と下期に向けて全体的な回復を見込むため、利益は下期偏重となりますが、増収増益を見込んでいます。

#### ●連結業績予想

(百万円)

連結	2011年5月期 通期実績	2012年5月期						
		通期予想	増減	前期比	上期	前年同期比	下期	前年同期比
売上高	178,806	183,000	4,193	2.3%	90,000	1.1%	93,000	3.6%
営業利益	2,432	2,850	417	17.1%	350	△34.4%	2,500	31.6%
経常利益	2,571	2,900	328	12.8%	320	△44.9%	2,580	29.6%
当期純利益	412	650	237	57.5%	△120	—	770	△19.9%

#### ●セグメント別通期連結業績予想 (セグメント間取引消去前)

	売上高	前期比	営業損益	前期比
HRソリューション	180,540	1.7%	6,200	18.8%
エキスパートサービス(人材派遣)、 インソーシング(委託・請負)他	155,730	1.7%	3,080	55.5%
エキスパートサービス(人材派遣) インソーシング(委託・請負) HRコンサルティング	151,100	1.2%	3,080	55.5%
プレース&サーチ(人材紹介)	2,360	28.7%		
グローバルソーシング(海外人材サービス)	2,270	11.7%		
アウトプレースメント(再就職支援)	9,160	△6.6%	450	△55.5%
アウトソーシング	15,650	6.5%	2,670	19.9%
ライフソリューション、パブリックソリューション シェアード	3,710	4.1%	△40	—
消去又は全社	△1,250	—	△3,310	—
合計	183,000	2.3%	2,850	17.1%

セグメント別業績予想の詳細は以下の通りです。

#### エキスパートサービス(人材派遣)

- 東日本大震災の影響により先行きの不透明感が長引き、派遣需要が継続して抑制される懸念も残るが、下期にかけて復興需要が下支えとなり景況感が改善していくと見られていることから、派遣需要も緩やかな回復軌道を迎える見込み
- 次期は本格的な回復ステージに向けた基盤整備を実施しながら、専門職種の強化を更に進め、メディカル、貿易、ITなどの専門分野の人材育成にも注力

#### インソーシング(委託・請負)

- 緊急雇用創出案件や就農支援事業を中心とした官公庁や自治体の受託が増加しており、引き続き伸長を見込む
- 官公庁や自治体には実績を元にメニュー拡大を提案し、事務系業務など委託分野を更に広げる営業を展開
- 営業・販売業務や特許関連業務などは専門子会社にノウハウを集約することで、事業拡大を目指す
- 企業の機能分散に対応するため、大阪にBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)センターを開設し、関西エリアの事業活動も強化

#### ブレース&サーチ(人材紹介)

- 国内ではリーマンショック以降、強く抑制されていた企業の採用意欲が徐々に回復し、震災後に一時止まった需要も足元では技術者などの専門職に加え、営業職などの求人需要も増加
- 次期は専門性の高いメディカル分野なども強化し、企業の戦略的人材採用に対応するべく、マネジメントレベルの人材紹介にも注力

#### グローバルソーシング(海外人材サービス)

- 次期は電力不足の問題やリスク対応の観点から企業の海外シフト加速が予想されることから、日系企業のサポートサービスを更に強化
- 新規エリアへの進出を含め拠点開設を積極的に進めるとともに、各国における人材サービスメニューを拡充し、顧客の囲い込みと業績拡大を図る

#### アウトプレースメント(再就職支援)

- 震災直後、一時的に受注が落ち込んだものの、下期以降、震災が企業の経営戦略を見直す機会となり、需要の増加を見込む

#### アウトソーシング

- 主力の福利厚生アウトソーシング事業は堅調に推移する見込み
- カスタマー・リレーションシップ・マネジメント事業(顧客満足度向上のためのサービス提供)やインセンティブ事業など新規事業において顧客の拡大に注力することで、増収増益を計画

#### ライフソリューション

- 保育関連事業、教育事業は引き続き堅調に推移する見通し

### 5. 配当について

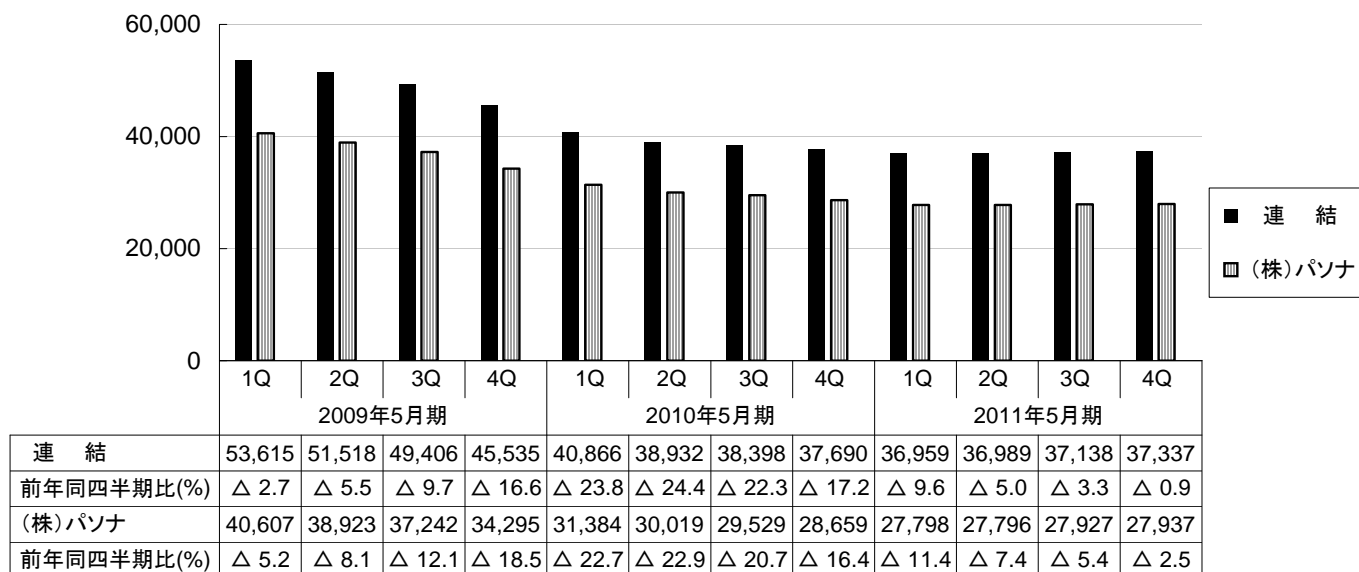
当期は業績や株主還元を総合的に勘案した結果、1株当たり1,000円の期末配当を実施します。

次期については、第2四半期連結累計期間は四半期純損失を予想していることから、中間配当は当期同様に見送りとさせていただきますが、期末配当については1株当たり1,200円を予定しています。

	2011年5月期			2012年5月期(予想)		
	中間 0円	期末 1,000円	年間 1,000円	中間 0円	期末 1,200円	年間 1,200円
配当金	中間 0円	期末 1,000円	年間 1,000円	中間 0円	期末 1,200円	年間 1,200円
配当金総額	—	374百万円	374百万円	—	—	—
配当性向	90.8%			69.1%		

## 5. 参考データ

### ●派遣長期稼働者数(1ヶ月以上契約の長期稼働者数の四半期毎の単純月平均) 単位:人



### ●エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負) 職種別連結売上高 (セグメント間取引消去後)

(百万円)

	(参考)※ 2010年5月期	2011年5月期		前期比	
		売上高	構成比	増減	増減率
ク ラ リ カ ル	81,713	72,450	49.0%	△9,263	△11.3%
テ ク ニ カ ル	25,820	28,061	19.0%	2,241	8.7%
I T エ ン ジ ニ ア リ ン グ	17,559	16,029	10.8%	△1,530	△8.7%
営 業 ・ 販 売 職	7,665	8,577	5.8%	912	11.9%
その他エキスパートサービス	6,368	5,992	4.1%	△376	△5.9%
イ ン ソ ー シ ン グ	11,837	16,625	11.3%	4,788	40.4%
合 計	150,964	147,736	100.0%	△3,228	△2.1%

※セグメント区分変更のため、2010年5月期を変更後のセグメントに組み替えて比較しています

### ●四半期業績

(百万円)

	2010年5月期				2011年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売 上 高	47,161	44,908	43,977	47,468	44,574	44,419	43,669	46,142
前年同四半期比	△20.2%	△21.1%	△16.3%	△5.2%	△5.5%	△1.1%	△0.7%	△2.8%
売 上 原 価	38,326	36,053	34,915	37,489	36,432	36,388	35,288	37,138
前年同四半期比	△19.1%	△20.8%	△16.8%	△6.9%	△4.9%	0.9%	1.1%	△0.9%
売 上 総 利 益	8,834	8,855	9,062	9,979	8,142	8,031	8,381	9,003
前年同四半期比	△24.9%	△22.6%	△14.1%	1.5%	△7.8%	△9.3%	△7.5%	△9.8%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	8,968	7,815	7,772	8,513	7,831	7,811	7,630	7,857
前年同四半期比	△17.7%	△26.9%	△22.2%	△6.9%	△12.7%	△0.1%	△1.8%	△7.7%
営 業 損 益	△134	1,039	1,289	1,465	310	220	750	1,145
前年同四半期比	-	40.7%	127.0%	114.4%	-	△78.8%	△41.8%	△21.8%
経 常 損 益	△119	1,052	1,469	1,641	319	258	747	1,240
前年同四半期比	-	17.6%	178.2%	59.5%	-	△75.4%	△49.1%	△24.4%
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 益	△155	1,032	1,379	1,576	△134	247	788	1,595
前年同四半期比	-	69.0%	11,497.9%	24.0%	-	△76.1%	△42.8%	1.2%
四 半 期 純 損 益	△1,102	△594	292	1,608	△471	△77	214	747
前年同四半期比	-	-	-	74.9%	-	-	△26.8%	△53.5%

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。